

事業所名 LEIF旭川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			広さは十分に確保できており、活動内容によって配置等を工夫して日々の療育を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		配置基準よりも1名多い配置が行えている日が多く、全体に目が行き届きやすいよう工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2		物件そのものに、もともとバリアフリートイレや手すりが設置されている状態などのため、配慮されている状態といえる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2		主に朝礼時に実施している。管理者や経験・知識のある職員を中心に、新しく入職した職員のフォロー等に継続的に努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者アンケートの結果を職員に周知している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページでの公表を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		月に一度、業務提携を行っている放課後等デイサービスの代表者や職員による指導を通じて、業務改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			月に一度、スタッフ全員参加の内部研修を行っている。また、積極的に外部研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			契約時に保護者様に記入していただく特性チェックシートや体験時の児童の様子をもとに、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		標準化されたアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		個人に合わせた目標カードを作成し、一人一人に合った目標を共有している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		一人一人の特性に合わせて計画を立てるように工夫している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝礼時にその日の利用児童の確認と、活動内容に応じた予測を立て、対応方法をスタッフ間で共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2		送迎に時間を割くことが多いため、その日の終了後に行えることは少ないが、翌日の朝礼時に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			連絡帳・支援記録・送迎の記録などの記録をとり、検証と改善につなげている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			月に一度、個人ごとにモニタリングを実施し記録をとり続けている。半年に一度の更新の際には、月ごとの変化を振り返り計画の見直しに活かしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	1		
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			初回利用時に学校への連絡を行い、送迎時の対応を確認している、また送迎時に先生に児童のその日の様子を聞くなど情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		該当する児童がいないため。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5		該当する児童がいないため。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3		今後、積極的に行っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			日々の送迎時を中心に保護者の方と子どもの様子についてコミュニケーションをとり、スタッフ同士でも情報を共有するよう務めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			5	出来ていない。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約の手続き時にすべて説明することを徹底している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			送迎時や、平日に普段直接お会いできない保護者様とは電話等を活用し、日頃の子どもの様子を聞いてサポートを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	保護者会を開催できていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			ご意見をいただいた際には職員間で共有を行い、日々の活動の中で改善していけるよう事業所全体として取り組んでいる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		5		連絡帳でのお知らせ・長期休暇の際の通信プリントの配布等を行っているが、会報のような形で定期的な取り組みは行っていない。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			言葉や説明だけでなく、視覚から情報を取り入れることができるような工夫を行い、個人に合ったコミュニケーションとなるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			各種のマニュアル策定を実施し、職員間で共有を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			避難訓練の実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			5	該当なしのため
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			アレルギー情報は、契約時に必ず確認し、保護者様に記載いただき記録として保管している。その情報をもとに職員間で共有して対応するよう徹底している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			5	朝礼時やミーティングの際の共有はあるが、具体的に資料等を作成して取り組めていないため、今後おこなっていくよう改善する。